

5. 東海（地域別調査機関：（株）UFJ総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由	
家計 動向 関連	良くなる	一般小売店〔土産〕 （経営者）	・来客数、購入額ともプラス傾向が4か月継続しており、本物と感じる。	
	やや良くなる	百貨店（売場主任）	・下見に来て商品を試し、また来ますという客が結構多いため、今後再来店して購入する客が増える。	
		百貨店（企画担当）	・愛知万博終了後の来客数減が懸念されるが、店舗の改装効果を期待できる。	
		百貨店（企画担当）	・婦人服、紳士服という主力アイテムの秋物の立ち上がり好調であることから、秋シーズンを通じて堅調な売上を期待できる。また先般発表されたウォームビズの話題性から、男性向けだけでなく女性向けの冬物商材の売上の伸びも期待できる。	
		スーパー（経営者）	・大型店の改装開店がある。また、愛知万博が閉幕し、周辺環境も平常に戻る。	
		スーパー（総務担当）	・季節の行事や催事に対して客の関心は強く、関連商品の売行きが増えている。客単価も全体的に上がっている。今後もこの傾向は続く。	
		スーパー（経営企画担当）	・購買者の動きが堅調に推移しており、今後もこの傾向は続く。	
		衣料品専門店（企画担当）	・客の動向をみていると、購買意欲を感じられる。	
		乗用車販売店（従業員）	・モーターショーの開催により市場の活性化が期待される。	
		乗用車販売店（従業員）	・待望の新型車投入が予定されており、市場は活気づく。競争は更に激化するが、活気が戻れば商談もより活発化する。	
		乗用車販売店（従業員）	・部品、パーツ類などがよく売れており、良くなる動きがみられる。	
		乗用車販売店（営業担当）	・来客数も売上も増加傾向にある。	
		住関連専門店（営業担当）	・投資ファンド関連のマンション物件が増えている。民間設備投資の工場、ビル関係も好調であり、今後期待がもてる。	
		その他小売〔貴金属〕 （経営者）	・客の購入価格は以前より安くなっているが、購買意欲は増してきたようであり、今後期待がもてる。	
		その他小売〔総合衣料〕 （店員）	・今夏から始まったクールビズに続きウォームビズが始まり、消費動向は上向く。	
		その他飲食〔仕出し〕 （経営者）	・愛知万博閉幕後も、現在の勢いある消費動向は続く。	
		その他住宅投資の動向を把握できる者〔室内装飾業〕 （経営者）	・企業の設備投資、店舗の新規開店などの引き合いが増加している。	
		変わらない	商店街（代表者）	・量販店やインターネット販売などと比較し、価格差を気にする客が多くなっており、今後も引き続き厳しい。
			一般小売店〔生花〕 （経営者）	・良くなる要素、悪くなる要素ともみられない。しばらくこの状況が続く。
	一般小売店〔贈答品〕 （経営者）		・大きな需要は発生しておらず、このままの状況が続く。	
百貨店（売場主任）	・現状では愛知万博関連が好調であるが、閉幕後は買い控え傾向が浮き彫りになる。			
百貨店（経理担当）	・美術品などは健闘しているが全体的に来客数は減少傾向であり、今後もあまり変わらない。			
スーパー（店長）	・単価の回復は依然としてみられない。中元商品の処分セールの人気も高く、節約志向が目立っている。今後もこの傾向は続く。			
スーパー（店員）	・来客数はほぼ昨年並みをキープするとしても、一人当たりの単価は低下傾向であり、トータルとしては良くない状態がしばらく続く。			
コンビニ（エリア担当）	・好材料があっても、競合の激化によって相殺されてしまう。			
乗用車販売店（経営者）	・今後も販売は堅調な動きをする。ただし競合により粗利益の低下は避けられない。			
乗用車販売店（経営者）	・今のところ次月に向けての需要が少なく、ファミリー層の動きも相変わらず鈍いため、先行きは不透明さが増している。			

	乗用車販売店（従業員）	・8月単月では良かったが、車検などの工場入庫が減少しているため、先行きは不透明である。 ・欲しい車に合わせて予算を立てるのではなく、使える予算に車を合わせる傾向が強くなっている。この傾向は今後も続く。
	自動車備品販売店（経営者）	・カー用品販売店では、今後はプラス1品のおすすめ提案や、車検、自動車保険、車販売を含めた提案を強化できるかどうか、回復に影響する。
	住関連専門店（店員）	・来客数の減少が大きい。この傾向は今後も続く。
	高級レストラン（スタッフ）	・予約の動向はひと頃の勢いがなくなっており、高原状態になっている。
	一般レストラン（経営者）	・例年秋口から売上は落ち込むが、今年は夏期の売上が良かったため、例年より多少は期待できる。
	一般レストラン（経営者）	・新しい客の開拓があまりない。
	一般レストラン（スタッフ）	・数か月前に勢いが低下して以来、あまり改善の動きがみられない。この先も良くも悪くもなりそうにない。
	旅行代理店（経営者）	・新しいイベントもないなか、依然として流れは変わらない。同じようなことを続けていたのでは客に繰り返し来てももらえないため、今後は5、6か月先を見込み、新規需要の開拓、新商品の販売をしなくてはならない。
	旅行代理店（従業員）	・愛知万博、世界ポート選手権などの大イベントが終わり、今後は大きなイベントが予定されていないため、現状維持を確保する我慢のセールスが数か月間続く。
	テーマパーク（職員）	・予約状況に変化はみられない。
	ゴルフ場（経営者）	・今後3か月間の予約は前年を下回っている。予約時期が遅くなってきており、低価格競争につながっている。
	設計事務所（経営者）	・案件数は少ないながらも維持しているが、内容的には規模が小さく、変更の多い案件が中心である。今後もこの傾向は続く。
やや悪くなる	一般小売店〔電気屋〕（経営者）	・単価が低下しそうであり、売上が増える見込みはない。
	スーパー（店長）	・大型店に客が流れる傾向が定着しつつある。特にサービスデーや土曜日、日曜日の大型店客はかなり増加している。
	スーパー（仕入担当）	・愛知万博閉幕後の来客数は明らかに減る。
	コンビニ（店長）	・愛知万博後に需要は減退するが、需要を掘り起こす手段が見つからない。
	コンビニ（経営者）	・酒類免許の規制緩和に伴う店舗淘汰にはしばらく時間がかかるため、その間は厳しい状態が続く。
	コンビニ（エリア担当）	・愛知万博閉幕後は、全体的に売上は厳しくなりそうである。
	コンビニ（エリア担当）	・8月はまずまずであるが、好天に恵まれたことが大きく、購買力は弱いままである。ガソリン価格の高騰が客単価の停滞に影響している。
	コンビニ（売場担当）	・9月末に愛知万博が終了したら、関連商品の売上が減少しそうである。
	家電量販店（店員）	・これまで愛知万博の好影響があったが、閉幕後は反動が出る。
	乗用車販売店（従業員）	・愛知万博終了後の魅力ある地域ビジョンがみえないため、地域経済は悪くなる。
	都市型ホテル（経営者）	・愛知万博の影響を除くと来客数はそれほど増加しているわけではなく、競合店も多く伸びはない。
	都市型ホテル（支配人）	・愛知万博の閉幕と原油価格の高騰が各種仕入原価に反映されてくる影響が今後出てくる。
	都市型ホテル（従業員）	・愛知万博が終了するため、予約数も減少している。
	都市型ホテル（スタッフ）	・宿泊、宴会の予約が前年に比べて減少している。
	都市型ホテル（スタッフ）	・相変わらず予約状況はあまり良くない。
	タクシー運転手	・愛知万博閉幕後は、好調だったホテルや新幹線からの客が減少する。
	通信会社（営業担当）	・競争相手との価格競争などにより利益は圧縮傾向にある。
	理美容室（経営者）	・ボーナスが出ないなど景気の悪い話を聞かないので、来客数は増えない。
	住宅販売会社（経営者）	・契約者の年齢が若くなっているが、住宅購入者の絶対数が減少しているため、販売者が若い人に目を向けているという背景がある。この現状では、今後も良くなることはない。

		住宅販売会社（従業員）	・愛知万博の閉幕後は、従来の来客数と売上の好調が続くことはない。
		住宅販売会社（企画担当）	・毎月ある程度決まった量の広告をうっているが、だんだん来客数も契約件数も減少している。この流れは変わらない。
悪くなる		コンビニ（店長）	・コンビニ業界では競合店がまだまだできそうで、飽和状態から過密状態になる。
		衣料品専門店（経営者）	・街全体に活気がなく、景気の浮上はみえない。
		観光型ホテル（スタッフ）	・愛知万博の特殊需要に支えられ9月末までは大変好調な営業状態であるが、10月以降はその反動で大きく落ち込む。
		設計事務所（営業担当）	・受注量が減少しており、支店が閉鎖されるかもしれない。
企業動向関連	良くなる	窯業・土石製品製造業（経営者）	・食器、タイル、衛生陶器などの窯業界では新規住宅着工件数が先行指標となるが、ここ数か月は非常に伸びており先行きに期待がもてる。
	やや良くなる	パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	・2～3か月先の受注量は、現在より5～10%の増加が見込まれている。
		窯業・土石製造業（社員）	・新規開発製品の評価が上々であるため、受注に結び付いている。実績ができれば、更なる拡販も期待できる。
		金属製品製造業（経営者）	・引き合いが徐々に増加している。販売価格はなかなか上昇しないが、販売量は従来より増加する。
		輸送用機械器具製造業（統括）	・主要取引先の再建計画が徐々に成果を上げつつあるため、今後はやや良くなる。
		建設業（経営者）	・自動車産業を中心に、設備投資意欲がますます顕著な形で進んでいる。
		輸送業（エリア担当）	・中部国際空港や愛知万博関連の影響持続と、自動車部品関係の好調を背景に、中部地域の良好な経済状況は今後もしばらく続く。
		輸送業（エリア担当）	・愛知万博の影響でかなり人や物が動いているが、今後も持続する。
		会計事務所（社会保険労務士）	・愛知万博で中断していた工事などが再開され、企業活動は活発になる。また、最近創業した新規顧問先も今後営業を軌道に乗せてくる。
		その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	・最終ユーザーによる品質要求がますます厳しくなり、企業は新設備を投入してでも、より品質レベルの高い製品の製造を求めている。その結果、この種の需要は今後量的にも品種的にも非常に多くなっていく。 ・海外投資も、今後増えることはあっても減少することはない。
変わらない	食料品製造業（企画担当）	・販売先の様子をみると個人消費は徐々に回復しているように見受けられるが、当社では原油価格の高騰に伴い包装材などの原材料や動燃費が上昇しており、収益を圧迫している。	
	紙加工品〔段ボール〕製造業（経営者）	・受注量はなんとか確保できそうであるが、紙パルプの他、樹脂製品などで仕入単価が上がりつつあるため、利益は減少傾向になっている。	
	一般機械器具製造業（販売担当）	・米国市場では設備投資意欲の減退がみられるが、国内やアジア各国における日系自動車メーカーの設備投資意欲は衰えを知らず、さばききれないほどの受注や引き合いがある。	
	電気機械器具製造業（経営者）	・製品によっては新機種の投入効果が出てくる時期であるが、競合が激化しており厳しい状況となってきている。また、原油高傾向が続き部材、輸送費に跳ね返るようであれば、損益に大きく影響してくる。	
	金融業（企画担当）	・現在の案件ストック状況から勘案すると、引き続き住宅ローンも堅調に推移しそうである。しかし競争が激しいため、良くなるまでとはいえない。	
	経営コンサルタント	・最近では前向きな投資の話が増えており、余力があり順調に利益を伸ばしている企業には投資物件の紹介がたくさんある。このような企業を中心に投資活動が盛んであるが、多くの企業では四苦八苦しており、全体としては変わらない。	
	公認会計士	・顧問先企業では原材料価格の高騰や人件費上昇に伴うコストアップが深刻であり、今後も厳しい。	
やや悪くなる	電気機械器具製造業（経営者）	・各社とも限界ギリギリでやっているなか、原油価格の高騰などにより副資材の値上げが強行に実施される環境に変わりつつあるため、一層厳しくなることが見込まれる。	
	輸送用機械器具製造業（総務担当）	・10月以降の売上は、上期に比べて減少する。	
	輸送業（従業員）	・原油価格の高騰に伴う石油関連製品の値上がりや燃料費の高騰で、深刻な経営難に陥る運輸業者が出る。	

		輸送業（エリア担当）	・燃料価格の上昇に見合う運賃見直しができず、タイヤ価格も4%ほど値上がりしている。また、速度厳守や過労運転禁止等の運行規制が厳しくなっており、労働コストも上昇している。今後経営環境は一層厳しくなる。
		広告代理店（経営者）	・自治体などが事業のアウトソーシング化を進めているが、非常に厳しい予算が現状で、請負側は無理をして受注している。今後も厳しい受注環境は続く。
	悪くなる	-	-
雇用 関連	良くなる	学校〔大学〕（就職担当）	・求人意欲の高さは依然として続いており、新規店舗の拡大も求人意欲に影響している。業種としては情報関係、証券、住宅販売、流通、商社、自動車部品メーカーである。今後も更なる好調が続く。
	やや良くなる	人材派遣会社（社員）	・引き続き、人材募集は増加傾向にある。
		求人情報誌製作会社（企画担当）	・愛知万博の閉幕後を見込んだ求人需要が明確に動き始めており、年内は活発な動きとなる。
		求人情報誌製作会社（編集長）	・新卒、中途、アルバイト、パートすべての領域で企業が人への投資を強めている感があり、この動きは更に継続する。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・県内の有効求人倍率が依然として高止まりのなか、サービスや業務請負などで企業の採用意欲は強く、求人広告の増加が見込まれる。
	職業安定所（管理部門担当）	・自動車、金属工作機械製造を中心に引き続き好調である。ただし、中高年を中心に正社員採用を求める求職側と、契約社員や派遣社員を求める求人側のギャップがあり、直ちに再就職とはいきにくい面もある。	
変わらない	アウトソーシング企業（エリア担当）	・例年8～9月にかけては求職者数が伸びる時期であるが、今のところ顕著な動きはみられない。その一方で、これを上回る求人数があるため、労働者確保は依然として厳しい。	
	職業安定所（所長）	・最近になって求人、求職とも動きが落ち着いている。企業の採用意欲、労働者の転職意欲は一段落しているようであり、この傾向は今後も続く。	
	職業安定所（職員）	・輸送用機械器具製造業では新規求人数が増加しているが、サービス業では2か月連続で前年同月を30%も下回り、19か月ぶりに新規求人数は1000人を下回っている。	
	職業安定所（職員）	・大企業を中心に増益企業も多いが、そのような企業でも雇用は請負、派遣の非正規社員が中心で、雇用情勢は厳しいままである。今後もこの傾向は続く。	
	やや悪くなる	人材派遣会社（社員）	・派遣登録希望者は徐々に増えてきているが、紹介できる案件が減少傾向にある。
	悪くなる	-	-